

## ●学校の概要

学校名	専門学校 水戸自動車大学校		
認可	平成11年4月		
設置者	学校法人 八文字学園		
学校長	八文字 和宏		
所在地	〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-22		
電話	029-228-1011	F A X	029-221-8226
学校情報公開	URL : <a href="http://www.mito.ac.jp">www.mito.ac.jp</a>		
総定員	520名（工業専門課程 520名）		
設置学科	自動車整備学科（昼間2年） 車体整備学科（昼間3年） 1級自動車整備学科（昼間4年）		
教育目標			
未来を背負うたくさんの若人たちに“強く、明るく、輝いた生き方”をしっかりと教え、社会に役立つ“人”を育てる。			
学校の特徴			
1. 手厚く指導するから資格取得率が高い 2. 現場経験豊富な講師陣が指導 3. 期待の高まる女性メカニックを育成			
キャリア教育			
勤労観、職業観を育み、自立できる能力をつけることを目的とする、現場実習・インターンシップを就職先となる各企業で体験し学習状況について確認し評価する。			

## ●教職員数

学校長	教員	講師	事務職員	計
1	14	0	2	17

## ● 収容定員

学科	収容定員
自動車整備学科	240
車体整備学科	120
1級自動車整備学科	160

## ● 学 費

費目	自動車整備学科 (1年次) (2年課程)	自動車整備学科 (2年次) (2年課程)	車体整備学科 (3年次) (3年課程)	1級自動車整備学科 (3年次) (4年課程)	1級自動車整備学科 (4年次) (4年課程)
入学金	¥150,000	—	—	—	—
実習費	¥250,000	¥250,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000
施設設備費	¥250,000	¥250,000	¥300,000	¥300,000	¥300,000
授業料	¥600,000	¥600,000	¥600,000	¥600,000	¥600,000
その他	¥285,000	¥295,000	¥495,000	¥245,000	¥295,000
合計	¥1,535,000	¥1,395,000	¥1,695,000	¥1,445,000	¥1,495,000

その他は、教材費、学校行事費、実習費等を含む

車体整備学科・1級自動車整備学科の1、2年次は自動車整備学科と同じ

## ●各学科の教育（自動車整備学科）

入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）	
1. 実践的な専門知識や技術の習得に強い興味と熱意をもっている人 2. 高度な専門性を追求するという「自分探し」「自分づくり」を目指す人が本学に相応しい人 3. これからの社会で通用する実力を身につけ、将来それぞれの分野で活躍したいという強い意志と意欲を持つ人	
カリキュラム	
・科目編成及び授業時数 表1（科目配当表） 参照	
進級・卒業の要件（成績評価基準、卒業・修了の認定基準）	
1. 成績評価	成績の評価は、原則として学期末に行う試験、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。各教科の合格は100点満点中70点以上を合格とする。
2. 進級要件	全科目の履修時間が、学則第9条別表1に定める授業時間数の100%である者。期末試験に合格している者。
3. 卒業要件	全科目の履修時間が、学則第9条別表1に定める授業時間数の100%である者。期末試験・卒業試験に合格している者。
目標とする資格・検定試験	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2級自動車整備士（ガソリン・ディーゼル・シャシ・二輪）</li> <li>・アーク溶接特別教育</li> <li>・ガス溶接技能講習</li> <li>・ビジネス能力検定</li> </ul>	
目標とする資格・検定試験	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2級自動車整備士 合格率90.9%（令和元年度）</li> <li>・アーク溶接特別教育 合格者24人（令和元年度）</li> <li>・ガス溶接技能講習 合格者24人（令和元年度）</li> <li>・ビジネス能力検定 合格者19人（令和元年度）</li> </ul>	
卒業後の進路（主な就職先）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城トヨペット株式会社</li> <li>・茨城ダイハツ販売株式会社</li> <li>・茨城トヨタ自動車株式会社</li> <li>・茨城日野自動車株式会社</li> <li>・日産プリンス茨城販売株式会社</li> <li>・株式会社スズキ自販茨城</li> <li>・茨城日産自動車株式会社</li> <li>・株式会社北関東マツダ</li> <li>・茨城いすゞ株式会社</li> <li>・ネッツトヨタ茨城株式会社</li> </ul>	

表1 (科目編成表)

区分	教育科目	教育内容	授業教科	1年	2年	合計
学科	自動車工学	自動車の構造	基礎自動車工学	15		418
			ガソリン1	25		
			ガソリン2	7		
			ガソリン3		14	
			ガソリン4		13	
			ジーゼル1	7		
			ジーゼル2	23		
			ジーゼル3	13		
			ジーゼル4		22	
			シャシ1	16		
			シャシ2	30		
			シャシ3	11		
			シャシ4		19	
		シャシ5		23		
		自動車の力学	力数1	23		
			力数2	8		
			力数3		13	
			力数4		13	
		電気・電子理論	電子工学1	16		
			電子工学2	25		
	電子工学3		9			
	電子工学4			13		
	電子工学5			13		
	自動車材料	材料	8			
	燃料・潤滑	燃料・潤滑	8			
	図面	図面		11		
	総合演習	自動車工学演習		20		
自動車整備	エンジン	ガソリン5	17		193	
		ガソリン6	10			
		ジーゼル5		20		
	シャシ	シャシ6	22			
		シャシ7	10			
		シャシ8		11		

			シャシ9		19		
		電装	電子工学6		19		
		故障探求	故障探求		15		
		総合演習	自動車整備演習		50		
	機器の構造・取扱い	整備作業機器	整備機器	13		37	
		測定機器	測定	12			
		検査機器	検査機器	12			
	自動車検査		検査		24	24	
	自動車整備に関する法規		法令1	11		26	
			法令2		15		
	実習	工作作業	手仕上げ・機械工作	機械工作作業	24.2		24.2
測定作業		基本計測	計測作業		47.4	47.4	
自動車整備作業		エンジン	エンジン本体		33.4		1091.4
			G噴射装置		47.4		
			ジーゼル整備		47.4		
			特殊機構1		33.4		
			二輪2			47.4	
			D噴射装置			47.4	
			重整備			35.6	
		シャシ	タイヤ整備		24.2		
			動力伝達装置		47.4		
			ステアリング装置		47.4		
			ブレーキ装置		47.4		
			サスペンション			47.4	
			二輪1		47.4		
			トラック整備			47.4	
			A/T			47.4	
			二輪3			47.4	
			特殊機構2			35.6	
		基本点検作業		33.4			
	電装	基礎電気		24.2			
		電気装置1		47.4			
電気装置2			47.4				
エアコンシステム				30.2			

			車体電装 1	47.4			
			車体電装 2		35.6		
		故障原因探求	ガソリン診断		47.4		
			故障探求		47.4		
		自動車検査作業	二輪車検整備		30.2		60.4
			車検整備		30.2		
一般学科	(一般教養)	(情報技術 1)		20		20	
		(情報技術 2)			20	20	
		(文書技法 1)		20		20	
		(倫理社会 1)		5		5	
		(倫理社会 2)			5	5	

## ●各学科の教育（車体整備学科）

入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）	
1. 実践的な専門知識や技術の習得に強い興味と熱意をもっている人 2. 高度な専門性を追求するという「自分探し」「自分づくり」を目指す人が本学に相応しい人 3. これからの社会で通用する実力を身につけ、将来それぞれの分野で活躍したいという強い意志と意欲を持つ人	
カリキュラム	
・科目編成及び授業時数                      表2（科目配当表）      参照	
進級・卒業の要件（成績評価基準、卒業・修了の認定基準）	
1. 成績評価	成績の評価は、原則として学期末に行う試験、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。各教科の合格は100点満点中70点以上を合格とする。
2. 進級要件	全科目の履修時間が、学則第9条別表1に定める授業時間数の100%である者。期末試験に合格している者。
3. 卒業要件	全科目の履修時間が、学則第9条別表1に定める授業時間数の100%である者。期末試験に合格している者。
目標とする資格・検定試験	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2級自動車整備士（ガソリン・ディーゼル・シャシ・二輪）</li> <li>・ 自動車車体整備士</li> <li>・ 有機溶剤作業主任者</li> <li>・ 中古自動車査定士技能検定</li> </ul>	
目標とする資格・検定試験	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2級自動車整備士      合格率100%（令和元年度）</li> <li>・ 自動車車体整備士      合格率100%（令和元年度）</li> <li>・ 有機溶剤作業主任者      合格者1名（令和元年度）</li> <li>・ 中古自動車査定士技能検定      合格者1名（令和元年度）</li> </ul>	
卒業後の進路（主な就職先）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 茨城トヨペット株式会社                      ・ 茨城ダイハツ販売株式会社</li> <li>・ 茨城トヨタ自動車株式会社                      ・ 茨城日野自動車株式会社</li> <li>・ 日産プリンス茨城販売株式会社                      ・ 株式会社スズキ自販茨城</li> <li>・ 茨城日産自動車株式会社                      ・ 株式会社北関東マツダ</li> <li>・ 茨城いすゞ株式会社                      ・ ネットトヨタ茨城株式会社</li> </ul>	

表2 (科目編成表)

※1・2年次は自動車整備学科と同じ				
区分	教育科目	教育内容	時間数	合計
学 科	車わく及び車体構造	材料	12.0	36.0
		力学	12.0	
		構造機能	12.0	
	車わく及び車体整備	板金Ⅰ	40.0	212.0
		板金Ⅱ	40.0	
		塗装Ⅰ	30.0	
		塗装Ⅱ	25.0	
		損傷診断	10.0	
		総合演習	67.0	
自動車検査作業	自動車検査	10.0	10.0	
実 習	車わく及び車体の 整備作業	板金Ⅰ	204.0	686.8
		板金Ⅱ	91.8	
		塗装Ⅰ	136.0	
		塗装Ⅱ	74.8	
		損傷診断	27.2	
		総合実習	153.0	
	自動車検査作業	自動車検査	27.2	27.2
一般学科	(一般教養)	(情報技術3)	20.0	20.0

## ●各学科の教育（1級自動車整備学科）

入学者に関する受け入れ方針（アドミッションポリシー）	
1. 実践的な専門知識や技術の習得に強い興味と熱意をもっている人 2. 高度な専門性を追求するという「自分探し」「自分づくり」を目指す人が本学に相応しい人 3. これからの社会で通用する実力を身につけ、将来それぞれの分野で活躍したいという強い意志と意欲を持つ人	
カリキュラム	
・科目編成及び授業時数                      表3（科目配当表）      参照	
進級・卒業の要件（成績評価基準、卒業・修了の認定基準）	
1. 成績評価	成績の評価は、原則として学期末に行う試験、実習の成果及び履修状況等を総合的に勘案して行う。各教科の合格は100点満点中70点以上を合格とする。
2. 進級要件	全科目の履修時間が、学則第9条別表1に定める授業時間数の100%である者。 期末試験に合格している者。 3年次進級は、2級自動車整備士のガソリン・ジーゼル共に合格している者。
3. 卒業要件	全科目の履修時間が、学則第9条別表1に定める授業時間数の100%である者。 期末試験に合格している者。
目標とする資格・検定試験	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1級小型自動車整備士</li> <li>・2級自動車整備士（ガソリン・ジーゼル・シャシ・二輪）</li> <li>・低圧電気取扱安全衛生教育修了証</li> <li>・圧縮天然ガス自動車点検整備責任者講習</li> </ul>	
目標とする資格・検定試験	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1級小型自動車整備士      合格率75%（令和元年度）</li> <li>・2級自動車整備士      合格率100%（令和元年度）</li> <li>・低圧電気取扱安全衛生教育修了証      合格者4名（令和元年度）</li> <li>・圧縮天然ガス自動車点検整備責任者講習      合格者4名（令和元年度）</li> </ul>	
卒業後の進路（主な就職先）	
<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・茨城トヨペット株式会社</li> <li style="width: 50%;">・茨城ダイハツ販売株式会社</li> <li style="width: 50%;">・茨城トヨタ自動車株式会社</li> <li style="width: 50%;">・茨城日野自動車株式会社</li> <li style="width: 50%;">・日産プリンス茨城販売株式会社</li> <li style="width: 50%;">・株式会社スズキ自販茨城</li> <li style="width: 50%;">・茨城日産自動車株式会社</li> <li style="width: 50%;">・株式会社北関東マツダ</li> <li style="width: 50%;">・茨城いすゞ株式会社</li> <li style="width: 50%;">・ネッツトヨタ茨城株式会社</li> </ul>	

表1 (科目編成表)

※1・2年次は自動車整備学科と同じ						
区分	教育科目	教育内容	授業教科	3年	4年	合計
学科	自動車工学	自動車の力学・ 数学	自動車工学1	10		110
		材料				
		燃料・潤滑剤				
		図面				
		自動車の構造・ 性能	自動車工学2	25		
			自動車工学3	25		
	電気・電子理論	電子工学	50			
	自動車整備	エンジン	エンジン工学	26		230
		シャシ	システム工学1	30		
			システム工学2	33		
			システム工学3	24		
		電装	システム工学4	55		
		故障原因探求	高度故障診断技術1	16		
			高度故障診断技術2	16		
		総合診断	総合診断	10		
		環境保全	環境保全論	10		
	安全管理	安全管理学	10			
	機器の構造・取扱い	整備作業機器	自動車機器	18		18
		測定機器				
		検査機器				
	自動車検査		自動車検査	6		6
自動車整備に関する法規		法令	12		12	
自動車概論	自動車概論	自動車概論		80	80	
サービス・マネジメント	情報技術3	情報技術3	20		20	
	環境論	環境論	30		30	
	経営学	経営学		20	20	
実習	工作作業	手仕上げ・機械 工作	工作作業	14		14
	測定作業	応用計測	測定作業	14		14
	自動車整備作業	エンジン	エンジン本体G	42		581

			エンジン本体D	42			
			特殊機構	42			
			燃料装置G	42			
			燃料装置D	42			
			シャシ	動力伝達	42		
				ステアリング装置	42		
				ブレーキ装置	42		
				サスペンション	42		
			電 装	基礎電装	42		
				応用電装	42		
			故障原因探求	故障探究 1	42		
				故障探究 2	42		
				故障探究 3	35		
			自動車検査作業		検査作業		24.4
サービス・マネジメント	ビジネスマナー	ビジネスマナー		14	14		
実務実習	体験実習	自動車の点検整備 故障原因探求 総合診断	体験実習		210	210	
		評価実習	自動車の点検整備 故障原因探求 総合診断	基礎実習		35	707
	総合実習			602			
	卒業研究			70			

## ●その他の教育活動

学校行事等
東京モーターショー、自動車に関する最新の技術やデザインについての情報を見学。自動車工場見学、整備士として仕事をする上で自動車の製作過程を勉強する。全日本自動車整備技能競技大会、自動車の整備・診断技術を基に、ハイブリッド車の点検・整備などの技能競技見学。安全運転技能講習、車の運動特性・安全装置を体験する。学園内のスポーツ大会。
ボランティア活動等
<ul style="list-style-type: none"><li>・レーシングチームのピットクルー。</li><li>・定期的な学校周辺の清掃奉仕。社会人としてのマナーを自覚させるとともに率先して地域社会をきれいに維持できるよう意識させる教育をしている。</li></ul>

## ●学生支援

学生生活支援
日常生活についてその人格形成を助け、学校の教育目標を達成するため一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めるように指導・援助・助言を実施している。
経済的支援
学費分納、奨学金・授業料免除、各種融資制度等紹介を行う学生支援センターの設置。
就職支援
学生対象学校内就職ガイダンスの開催。就職先企業を招いての学校内就職ガイダンスの開催。履歴書の書き方・マナー・就職面接等個別指導。
その他の支援
学生の健康面への支援として胸部検診（学校保健法による結核検診）や健康診断書の提出など担任面での生活や健康の指導などや三者面談を実施し、保護者と適切に連携する体制を整えている。